

# 横浜市薬剤師会と人生会議(ACP)に関する連携協定を締結しました！ ～市内全ての会員薬局で「もしも手帳」を用いた啓発を強化～

「人生会議(ACP)」とは、もし治らない病気などでご自身の意思を伝えられなくなった場合に備え、望む医療やケアについてあらかじめ家族や信頼できる方と話し合い共有しておく取組です。思いを共有しておくことは、自分らしく豊かな人生を送ることにもつながります。

病気や死について話しづらい中でも進めやすいよう、横浜市では「もしも手帳」を活用し、ACPの普及啓発に取り組んでいます。

このたび、横浜市と横浜市薬剤師会は、「もしも手帳」を用いたACPの普及啓発に関する協定を締結しました。横浜市薬剤師会は市内約1,000店舗の会員薬局を有し、長期的な患者支援や在宅療養者への訪問薬剤管理指導など、市民に寄り添い地域に根差した活動を行っています。今回の協定により連携を一層強化し、ACPの普及啓発に向けた取組をさらに推進します。

## 1 協定概要

- (1) 協定締結日：令和8年4月6日
- (2) 協定による具体的取組内容

- ・会員薬局全店舗(市内約1,000店舗)での調剤時や市民向け講座、イベント等における「もしも手帳」を活用した「人生会議(ACP)」の普及啓発
- ・市民への普及啓発ができる人材の育成を目的に、薬剤師向けの研修実施、活用状況や好事例の共有

## 2 一般社団法人 横浜市薬剤師会

所在地：横浜市磯子区西町14番11号

会長：坂本 悟

目的：薬剤師及び薬学又は薬業に関係のある者の倫理的かつ薬業の学術的水準を高めるとともに、薬学及び薬業の進歩発展を図り、もって地域住民に対する厚生福祉の増進に寄与すること



一般社団法人 横浜市薬剤師会  
YOKOHAMA Pharmaceutical Association

### (参考)「もしも手帳」概要(累計50万部配布)

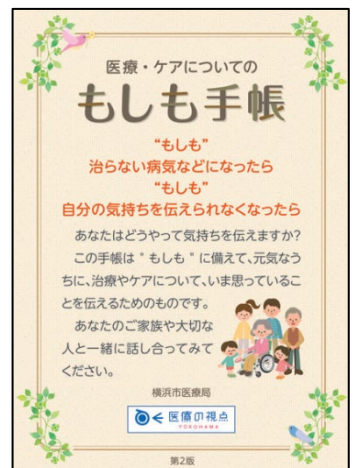
「もしも手帳」は、簡単な3つの質問に答えることで、どのような医療やケアを望んでいるかを伝えられる手帳です。お薬手帳や診察券を入れることができるカバーに入れ、配布しています。

#### 3つの質問

- ・どんな治療やケアを受けたいか
- ・自分で決められなくなったら、代わりに誰に話し合っほしいか
- ・どこで過ごしたいか

配布先：区役所高齢・障害支援課、地域ケアプラザ、在宅医療連携拠点(在宅医療相談室)など

お薬手帳等と一緒に持ち歩けるカバーに入れて配布



お問合せ先

地域医療課在宅医療連携担当課長 石川 Tel 045-671-3609



GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

